

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
三木・別所地区

平成31年4月

兵庫県三木市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	人	102	130	132	確定 見込み	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	別所ゆめ街道についての説明会やワークショップを開催したことで、地域住民の当事業に対する関心やボランティア活動への参加意向が高まった。遊歩道に花壇等の植栽スペースを整備することで、別所花の基地に携わるボランティアの方の活動機会及び活動場所を提供することができた。	
指標2	人/日	217	250	362	確定 見込み	○	あり なし	364	H30年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市役所に近接する場所に移設し、新たに交流スペース等を設置するとともに、目に優しい緑の風景を楽しみながら落ち着いた環境で読書を楽しめる図書館を整備したことで、利用者の利便性等の向上が図られ、市民の図書館の利用機会が増大した。	
指標3	人/年	11,634	12,500	10,659	確定 見込み	△	あり なし	10,277	H31年4月	△	イベント開催時の参加者数がカウントされないことから、来館者数としての増加が現れにくくなった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	三木鉄道ふれあい館につながる別所ゆめ街道のオープニングイベントが雨のため中止となり、十分なPRができなかった。しかしながら、当館周辺に交流センターや展望広場を整備し、鉄道跡地周辺の賑わいの創出を図ることで、三木鉄道ふれあい館周辺で開催されているイベントへの参加者数は毎年増加している。	
指標4					確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
指標5					確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	・まちづくりへの住民参加			
	・施設の利用促進			
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	・来場者数増加に向けた別所ゆめ街道と三木鉄道ふれあい館の情報発信と三木鉄道跡を活かしたさらなる魅力づくり			
	・図書館の移転後、旧図書館施設は「みき歴史資料館」として活用されているが、図書館として利用されていた時よりも利用者数は減少している。主要施設が旧市街地から移転したことによる、旧市街地への来訪者数減少に対する対応			

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画

み き べっしょ ち く
三木・別所地区

ひょうご み き し
兵庫県 三木市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	三木市	地区名	三木・別所地区	面積	910 ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度				

目標

- 大目標 市民と来訪者の交流による廃線跡地を活かした旧市街地の活性化
 目標1 市民と来訪者の憩い空間の整備による交流人口の増加
 目標2 住民参画の計画・整備による、地域の個性を生かした人的交流と活気あるまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・当地区は、加古川市・小野市と隣接する地域である。
- ・地区中心部の南北に国道175号が、また、地区中心部の東西に県道加古川三田線が整備されており、加古川、明石、小野方面への交通の利便性や立地条件に恵まれている。
- ・山陽自動車道や国道175号、東播磨南北道路(計画中)等高規格道路網を活かしたまちづくりを進めている。

- ・平成21年4月1日に三木鉄道が、90年余りの歴史に幕閉じて廃止になったことに伴い、人的交流が減少し、地区全体が徐々に活気を失いつつある。
- ・別所地区の「まちづくり協議会」では、別所公民館を拠点に地域住民が、文化祭、納涼大会、研究会、趣味の発表会等のイベントを実施しており、地域のコミュニティを深めている。
- ・三木鉄道廃線跡地を市民の交流・憩いの場として再生整備するため、地元住民で構成される「別所ゆめ街道によるまちづくりを考える会」において整備のあり方について協議を進めている。

- ・平成25年10月に三木市、小野市の統合病院である北播磨総合医療センターが小野市域に開設することから、現在の市民病院跡地に診療所を誘致し、来る超高齢社会を見据えた福祉や介護などの新たな拠点とするほか、これまで病院を核に築かれた、高齢者を中心としたコミュニティや憩いの場の存続を図るための施設として跡地活用を検討している。

- ・平成18年度から22年度の都市再生整備計画により、三木鉄道三木駅跡地を市民の交流・憩いの場として再生するため、三木鉄道記念公園を整備した。公園内に一体的に整備した「三木鉄道ふれあい館」、「MIKI夢ステーション」は、地域の交流拠点として市民に利用されている。
- ・平成18年度から22年度の都市再生整備計画により整備された、観光交流拠点を活用しイベント等が開催され、多世代が集い、交流するまちづくりが進められている。

- ・本地区の中央を東西に流れる美藪川沿いの桜並木は花見の名所として知られており、美しい景観の維持・保全に努めている。
- ・地区内には、兵庫県下でも有数の古墳である、全長91mの愛宕山古墳(前方後円墳)が現存しているほか、地区内に古墳・神社仏閣等歴史遺産が点在している。
- ・本地区の西半分である別所エリアは美藪川沿いに田園風景が広がっており、中心市街地から約1kmで緑豊かな美しい景観に触れることができる。
- ・平成23年度から、花と緑による美しいまちづくりを進めるため、地域の花づくり活動の担い手を育成することを目的とした「ガーデニング学習講座」を小野市と合同で開催している。

課題

- ・三木鉄道跡地の公共ストックとしての利活用がなされていない。
- ・三木鉄道の廃止により旧市街地の来訪者が減少していることに加え、三木市民病院が小野市域へ移転することにより、さらにその傾向が強まるおそれがある。
- ・中心市街地において、賑わいを創出するための交流スペース等が不足している。

将来ビジョン(中長期)

交流拠点の整備による、ふれあいと賑わいのあるまちづくり

三木市総合計画:地域の資源を活用し賑わいとふれあいのまちづくりを進めるべき地区

三木市都市計画マスタープラン:『西の玄関口』となる別所地域で、ふれあいや賑わいの核となるゾーンとして整備し、地場産業をはじめ、サービス業、商工業施設、住宅などの土地利用を推進する。
 市役所周辺の活性化を図り、市民の皆様が集まり、賑わいを創出する地区とする。
 三木鉄道線跡地整備を進め、市民主体となる利活用に取り組む。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
ボランティア登録者数	人	別所ゆめ街道に係るボランティア団体に登録されている方の人数	別所ゆめ街道を整備することにより、人々の交流や地域資源を活かした産業おこしを目指す。	102	H23	H29
図書館利用者数	人/日	図書貸し出し人数の増加	交流スペース、多目的スペースを兼ね備えた地域拠点として整備し、旧市街地へ人を呼び込む。	217	H23	H29
三木鉄道ふれあい館来館者数	人/年	三木鉄道ふれあい館の利用者数	別所ゆめ街道を整備することにより、交流拠点の利用者数増加を目指す、活性化を図る。	11,634	H23	H29

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(憩い空間の整備、賑わいの創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三木鉄道記念公園の隣接地に、多様な世代がまちづくり活動などを通じて交流し、学び、憩う事の出来るコミュニティ活動の拠点施設の整備を図る。 ・来訪者、市民の憩いの場、交流の場となる空間を備えた図書館の整備を行う。 ・市民病院の建物・敷地を活用し、公園や社会福祉施設、地域交流スペースの整備を行い、憩い空間の創出を図る。 ・まちづくり協議会などを中心に地域イベント等を開催し、多世代が集い、交流する機会を増やす。 ・道路の整備により、市民や来訪者にとって快適な環境整備を行い、中心市街地の活性化や交流人口の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)三木地区交流センター(基幹事業/高次都市施設) ・(仮称)三木市立中央図書館(提案事業/地域創造支援事業) ・(仮称)花と緑の健康広場(基幹事業/地域生活基盤施設(広場)) ・市民病院管理棟跡(交流スペース)(基幹事業/既存建造物活用事業(高次都市施設)) ・市民活動センター用駐車場(基幹事業/地域生活基盤施設) ・市道 病院線(基幹事業/道路) ・市道 芝町岩宮大塚線(基幹事業/道路) ・市道 えびす新田山線(基幹事業/道路) ・市道 えびす市住線(基幹事業/道路) ・市道 駅前線(基幹事業/道路) ・市民病院管理棟跡(関連事業/診療所) ・市民病院管理棟跡(関連事業/在宅医療センター)
<p>整備方針2(地域間交流、地域活力の創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三木鉄道公園へ向かうための三木鉄道線路跡地を市民参画による整備や運営を行い、人々の交流拠点として整備を行うとともに、地域資源を生かした産業おこしを目指す。 ・旧鉄道駅舎を改修し、休憩スペースや観光情報の提供を行い、人的交流と憩いの場を創出する。 ・地区を見渡せる正法寺山頂上に展望広場の整備を行うことにより、市民や来訪者に地域の魅力に触れてもらう。 ・地域資源を活かした産業おこしのため、農産物加工施設の活用を行うことにより、地域コミュニティの活性化を図る。 ・別所花の基地を拠点とした花の育成、線路跡地への植え付けにより住民主体のまちづくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道整備(基幹事業/高質空間形成施設) ・ハーブを活かしたまちづくり事業(関連事業/カフェテラスの整備) ・(仮称)正法寺山展望広場(基幹事業/地域生活基盤施設(広場)) ・農産物加工施設の活用(関連事業/農業の6次産業化) ・事業効果分析(提案事業/事業活用調査)
<p>その他</p> <p>別所ゆめ街道周辺で活動しているボランティア団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さとの会:別所ふるさと交流館の管理運営活動 ・三木鉄道三木駅周辺を元気にする会:三木鉄道ふれあい館の管理運営及び、三木鉄道記念公園の維持管理活動 ・ふれあい夢工房:三木鉄道ふれあい館の運営活動 ・エプロン三木:MIKI夢ステーション(三木鉄道ふれあい館隣接施設)の管理運営活動 ・別所花の基地ボランティア:花の育苗及び植え付け活動 ・三木市ハーブ産業推進協議会:ハーブを活かした産業おこしのための活動 <p>三木鉄道ふれあい館の来場者数を指標にした理由</p> <p>三木鉄道線路跡地を、植栽や休憩所を有する遊歩道として整備(別所ゆめ街道)する事で、市民や来訪者の交流の場、憩いの場を創出するとともに、観光散策路として三木鉄道記念公園や三木鉄道ふれあい館へ誘導することができるため、三木鉄道ふれあい館の来場者数を目標に対する指標に定める事で、地域の交流人口の増加を確認することができる。</p> <p>む。</p>	

